



かわにし

精華町立川西小学校

検索

めざす児童像
よく学び 心豊かで 元気な子
精華町立川西小学校 学校だより
令和7年12月24日 冬休み号

～2学期も様々なご協力ありがとうございました！

残暑厳しい中で始まった2学期も、今日で終業式を迎えました。81日間の2学期、子ども達はよく頑張り、1人1人が伸びた2学期になったと思っています。

12月はインフルエンザが猛威を振るい、多くのクラスが学級閉鎖となりました。まだまだ、世間では流行が収まっています。冬休み中各ご家庭でも、感染対策、十分にお気をつけください。

12月1日～5日は、校内人権週間でした。各学級では「テーマ」を設定し、1学期に各学級でつくった「スマイル宣言」を振り返る話し合いをしたり、学活などで「ネットのマナー」を考えたりする活動を行いました。身近な「人権」について、じっくり考える期間となり、子ども達の意識も高まったと考えています。

この期間だけに終わらず、子ども達が、目指す児童像にある「心豊かな子」となるよう、人権にかかる指導は、日常的に、また事あるごとに指導を続け、子ども達の意識を高めることに今後も力を入れていきます。



校長 竹花 真治



月末に、多くの子ども達を表彰しました。11月に行われた相楽地方小学校駅伝大会や、相楽地方美術展での絵画や立体作品での出展者、夏休みの応募作品での表彰等、体育や図工、国語に関わって、自分の得意分野を伸ばそうと、たくさんの子ども達が頑張ってくれたこと、とてもうれしく思っています。今後も、自分の得意分野に磨きをかけ、さらに伸ばしてもらいたいものです。

この2学期も、地域・保護者の皆様には、運動会や持久走チャレンジでの児童への応援・励まし、登下校時の見守り等、様々な場面で学校を支援いただき、ありがとうございました。

いよいよ明日から冬休みとなります。通知票や懇談会での話から、子ども達の様子をつかんでいただき、伸びた点を大いに褒めてあげてください。そして、残る3学期に（登校日数約50日）、がんばれるよう、励ましをお願いします。

来年も、子ども達が大いに伸びていくことを期待しつつ…、どうぞ良い年をお迎えください。



12月のかわにしアルバム！ よく学び 心豊かで 元気な子 を目指して！

元 激走 相楽地方小学校駅伝大会！

11月21日、駅伝大会がありました。駅伝の部(1200m×6人)では、1人1人が持てる力を出し切り、見事4位に入賞しました。持久走の部(800m 2名出場)でも、好記録を出し入賞するなど、練習の成果を出し切った素晴らしい走りを見せてくれました。

21校26チームが襷をつなぐ



12月もがんばる
子どもたち！

相楽地方小学生交通安全作文発表会！心

6日、木津川市のいずみホールで、相楽地方の各小学校6年生代表児童が、交通安全に関する作文の発表会がありました。本校からは6年生堀川さんが発表。交通安全への思いを込め、意識を高める作文を、わかりやすく発表してくれました。



学 6年生総合的な学習「自分探しの旅」

16日、6年生は総合的な学習の時間で「自分の将来、めざしていきたい仕事」について発表しました。目指す仕事に就くにはどのような学習・経験を積めばよいのかなど、調べたことを、子ども達はタブレットを使ってまとめ、発表しました。プレゼンテーションの技能も身に付け、「まとめ方・発表の仕方」が向上をしています。

9日には、精華中学校の体験入学もあり、6年生は将来に向かうまでの、次のステージに向けた準備も始まっています。



高めた体力を活かして「縄跳び」元

体育の「持久走」でがんばった子ども達ですが、体育では次の単元「なわとび」などに切り替わり、今、休み時間、縄跳びをする子が増えています！

縄跳びは跳び続けることによる、体力作りの側面もありますが、学校では、巧みな縄さばきで様々な跳び方ができること（巧緻性の向上・リズム感の獲得）を主としてねらっています。難しい跳び方ができるようになった時の喜びは格別です。

この冬休み、ご家庭でお子さんといっしょに練習をしていただけたらありがとうございます。



1月の行事予定			下校時刻														
日	曜日	行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年	日	曜日	行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	木								16	金	お話の小箱(1年) 森林環境教育プログラム(6年)	14:30		15:20			
2	金								17	土							
3	土								18	日							
4	日								19	月	給食週間(～1/23金) 居住地交流	14:30		15:20			
5	月								20	火	児童集会	14:30		15:20			
6	火								21	水	短縮5時間			13:30			
7	水								22	木		14:30		15:20			
8	木	短縮3時間 始業式		11:15					23	金	水曜5時間 お話の小箱(2年) ライトダウンデー		14:05				
9	金	短縮3時間		11:15					24	土	川西小家庭の日						
10	土								25	日							
11	日								26	月	発育測定(みすほ・5・6年)	14:30		15:20			
12	月	成人の日							27	火	授業参観(2時間目)	14:30		15:20			
13	火	給食開始 学力充実(2・4・6年)		13:10					28	水	人権の日 発育測定(3・4年) フラネタリウム見学(4年1組)		14:05				
14	水			14:05					29	木	発育測定(1・2年) クラブ フラネタリウム見学(4年2組)	14:30		15:20			
15	木	学力充実(1・3・5年)	14:30		15:20				30	金	入学説明会(もうすぐ1年生)	13:10		15:20			
									31	土							

お知らせ

3学期は1月8日(木)スタート! 3学期は1月8日より始まります。元気に新年のスタートを切ることができるように、始業式前の数日間は、特に早寝早起きを意識させ、体調や生活リズムの観察をお願いします。短縮3時間授業で、下校は11時15分頃です。

子どもを伸ばすために！

自己肯定感を高める！



今年度も早いもので2学期間が終わり、残すところ3学期のみとなりました。保護者の皆様から見られて、この1・2学期、お子さんの「成長・伸び」はどうであったでしょうか？

「伸びた!」「足踏みしている…」と、いろいろお感じになられていることだと思います。子どもは、急成長の時期もあれば、少しずつ積み上がっていく時期もあり、一人一人の「成長・伸び」のスピードには個人差があるものです。個人差はあるとはいえ、子ども達は確実に伸びています。これからも、さらに伸びてもらいたいのですが、その原動力となる、「頑張るぞ!」という前向きな気持ちは、周りの働きかけで、変わってきます。

そこで、子どもを伸ばすために、大切なキーワードとなるのが、学校や家庭、周囲からの愛情や信頼・期待などに「包み込まれている」という感覚」と「自己肯定感」です。



自己肯定感とは、自分の在りのままを受け入れ、自分をかけがえないのない大切な存在だと自覚したり、自分を尊重したりする感情で、自分らしく生きるために、心の成長のために欠かすことのできないエネルギー源になるものです。

「できないこと・苦手な事もあるが、自分を好き」と思えたり、「自分は周りの人から愛されている、大切にされている」と感じることができたり、このような感情を子どもに持たせ、その子らしく成長させるのに大切なのは、言うまでもなく「褒める・認める」という行為です。この褒め方・認め方によって、自己肯定感の高まり方はかわってきます。

褒め方で避けたい代表例は「比較による褒め方」です。テストの点数や、何かができた事など、その子の前回からの伸びで評価すればいいのに、他の子どもと比べたり、平均値との比較で子どもを評価してしまったり…。(例「縄跳び、たくさん跳べたね。でも、〇ちゃんは、もっと跳んでたよ!」) 頑張った行為だけでは認めず、周りより良い結果を残した時にやっと認める…。そういう見方・考え方では、子どもも相対的な順位ばかりを気にするようになったり、周りより良い結果の出ない努力に無意味さを感じたりしてしまいます。(例「どうせ僕は、縄跳び練習をしても、〇君ほどは跳べないし、練習したくない」)

子どもを伸ばすためには、どんな時も、子どもの個性と成長を信じ、ゆっくり育て(近道はないと)、そして、ありのままを認

めて褒めて、子ども達が、「包み込まれている」と感じる中で育っていくことが大切です。なかなか結果が出ないときがあっても、子どもたちは頑張っています。そんな時は、例えてきて当たり前の小さな事でも、頑張っていることを認め、褒め言葉をかけてあげてください。

日々、褒めることばかりならいいのですが、時には、叱らなければならないこともあります。よく言われる叱り方のポイントは3つ!

①気分で叱らない! 昨日だめなことは今日もだめ!いつも

一定の尺度で!

②叱ることは今起きたことだけ! 前のことは言わない!

③しつこく言わない!

感情任せに「怒る」のではなく、「諭す」ことが大切です。



多くのアンケート調査で、低学年の頃は、「自分に良さがある」と答えた割合は約半分以上だったのに対し、高学年になると、その割合は低くなっていく傾向が見られています。

自分の良さには気付いているのですが、自分と友達との比較の中で「できないこと」があれば、劣等感を持ち、その結果、自分を否定的に見てしまう傾向にあると考えられます。



できないことは「ダメなこと」でも「格好悪いこと」でもありません。そこから伸ばせばいいわけであつて…、できないことをダメだと思っていたら、周りの人ができていないことが格好悪く見えたり、人前で失敗することが恥ずかしく思えたり…。すべてを受け入れられてこそ、他者も認められるのであって、自己肯定感を育てることは、「人を認める・大切にする」という「人権の尊重」にも大いにつながっていくものです。

この2学期、お子さんを何回誉められましたか? 日々、忙しい毎日のなかで、ご家庭では、つい「早くしなさい! まだできないの?！」などの叱る言葉が多くなってしまったかもしれません。

子ども達にちょっと時間の余裕のある冬休みに、何か頑張らせ、いっぱい誉め言葉のシャワーを浴びせてあげてください。

お家の日の日々の喜びか、子どもの「意欲・努力する心」を育て、自己肯定感を高めていくことにつながります。

3学期も、子ども達を包み込む温かな雰囲気の中で、学校と家庭が連携をとり、共に育てていきましょう。

